關屋敏子　せきや としこ　聲樂家。明治三十七年三月十二日東京生れ、昭和十六年十一月二十三日歿（一九〇四−四一）。號竹溪。大正十一年東京音樂學校中退。昭和二年渡歐、ボローニア大學に學び、スカラ座の試驗に合格。プリマドンナとして各地で活動し、四年歸國。翌年「椿姫」を藤原義江と共演。再び歐米に赴き、自作を含む日本歌曲を紹介して、九年歸國。自作歌劇「お夏狂亂」を發表するなどしたが、自殺。明治五年來日の外務省顧問リ・ゼンドル（李仙得）の孫に當る。

久保田榮吉編『歌聖關屋敏子女史』（昭和十七年二月二十八日敬和顯正社）刊。